



～ 第51回卒業式 ～

沖縄県立浦添高等学校第51回卒業式が3月1日(木)に行われました。前日の大雨で大変心配されましたが、当日は大変すばらしい天気恵まれました。来賓として、上江洲仁吉同窓会長、護得久朝文後援会長、川口千賀子PTA会長はじめ、学校評議員のみなさま、PTA役員、同窓会役員のみなさまが駆けつけてくれました。本当に感謝しています。

校長として初めての卒業式で、滞りなく終わることが出来るか大変緊張しておりましたが、職員、生徒及び保護者等のご協力により、大変立派な卒業式だったと思っております。特に卒業生の対応がすばらしく、予行演習の成果を充分発揮してくれました。

私は式辞をしっかりと述べなければならない事から、校長室で何度も練習しました。しかし、式辞を読んでいると卒業生と過ごした1年が走馬燈のように思い起こされ、胸一杯になり、あまりうまく読めない状況でした。「本番大丈夫かな？」と本当に心配しましたが、当日は何とか述べることできてホッとしております。



卒業証書授与の際には、くす玉が割れてしまうというハプニングもありましたが、「くす玉も早くおめでとうを言いたかったでしょう」というステキなアナウンスで心もなごみました。

また、インフルエンザの流行により、急遽予行演習に在校生を参加させませんでした。1年生にインフルエンザ感染者が多数おり、2年生の修学旅行も控え、何よりも3年生に万が一感染させてしまうと、卒業式が台無しになってしまうという判断からです。それでも2年生は立派に対応してくれました。

ともあれ、すばらしい卒業式に感謝しています。 校長

●学校職員対抗駅伝大会●

第43回県立学校職員対抗駅伝競走大会が3月3日(土)に行われました。浦高は1チームエントリーし、102チーム中34位と検討した。1区(3km) 石川吉幸(数学)

- 2区(2km) 角田有希(英語)
- 3区(3km) 運天秀彦(数学)
- 4区(2km) 上運天亜希子(社会)
- 5区(3km) 眞栄平司(化学)
- 6区(2km) 金城徹也(数学)
- 7区(3km) 平良正和(数学)

当日は土砂降りで見えを開けることさえ困難な状態であったという。また、池の中を走っているようだったという声もあった。そんな中でも勇猛果敢に走り抜いた先生方に“あっぱれ”と言いたい。



各区間の様子については先生方に直接聞いてみてください。特に触れておきたいのは石川先生の区間6位だ。各校とも強豪が集まる1区でこの成績はスゴイの一言だ。

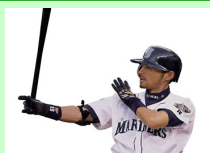
このように浦高は生徒のみならず先生方も様々な事にチャレンジしている。生徒諸君もうかうかしてられないぞ！ 校長

*** 校長雑感 ***

高校入試が6・7日に行われ、335名の受験生が定員300の合格をめざし果敢に挑戦してくれた。初日の緊張感は凄いもので、“緊張で糸が張ったよう”という表現があるが、まさにそのような状況であった。浦添高校に入学を希望している受験生の想いを大切に、その期待に応えられる浦添高校にしていかなければならないと痛切に感じた。

〜〜 時の言葉 〜

夢や目標を達成するには
1つしか方法は無い。
小さいことを積み重ねること。



イチロー
(メジャーリーガー)

まさにイチローらしい言葉。来季は古巣のマリナーズで現役を続行する。常に最高のプレーをするために、その準備に余念が無い。小さいことの積み重ねは、シーズン最多安打記録保持者(262安打)になり、プロ野球における通算安打世界記録保持者(通算4257安打でギネス世界記録に認定)となった。

～ 修学旅行 ～

2年生が修学旅行を終え、全員無事に帰ってきた。5日～9日の4泊5日の経験は高校時代の貴重な思い出になるはずだ。

初日は那覇空港に午前6時集合で、みんな時間通り来れるか心配していたが、2名の数分の遅刻のみで、概ね順調であった。さすが浦添高校だなと感じたのは、先生方の指示に対し、約270名が速やかに反応することだ。このような多人数だと何やかんやと時間がかかったりするが、サッと反応する姿に感動した。

鉄道博物館、富岡製糸場跡、スキー実習、ディズニーランド、東京自由研修等ほんとうに貴重な経験だったと思う。 校長